

翔南生の活躍が新聞で紹介されました！

翔南高生徒会と地元業者協力

デニムのバッグできた ボランティアで活用

翔南高(倉敷市児島
神田町)の生徒会は、
地元のアパレル業者と
協力し、デニム生地を
使ったバッグを作っ
た。ジーンズ産地の児
島地区にちなんだ取り
組みで、生徒たちのボ
ランティアで活用す
る。

産業人材の育成に向
けた「高梁川流域未来
人材育成事業」の一環
で、同高と児島商工会
議所が企画。2、3年
生12人が、児島産業振
興センター(同市児島
駅前)内の起業支援施
設に入居するデニム製

品製造・タンジョデニ
ムの福川太郎さん(39)
から指導を受け、斜め
掛けにして使う「ボデ
イバッグ」に挑戦し
た。

昨年10月から作業を
進め、福川さんから起
業の意義について講義
を受けた後、生地裁断
や工業用ミシンを使っ
た縫製といったものづ
くりに取り組んだ。バ
ッグには、機械で砂を
吹き付ける「サンドブ
ラスト」の技法で、校
名にちなんだロゴが入
っている。縦約20センチ

横約40センチで計23個製作
した。

バッグは全校生徒約
250人が加入するボ
ランティアクラブ「S
クラブ」の活動で使い、
1月27日に市芸文館
(同市中央)で開かれ
る同事業の発表会で、
取り組みについて紹介
する。前生徒会長の3
年佐藤若嶋さん(18)は
「一枚のデニム生地か
らかっこいいバッグが
できた。残りの高校生
活で身に付けて活動し
たい」と話している。
(浪速祐彦)



デニム生地のバッグを掲げる生徒たち